

University of Miyazaki Library

宮崎大学附属図書館概要

2023



宮崎大学附属図書館

附属図書館の理念及び目標

「理念」

宮崎大学附属図書館は、本学の理念・目標の実現のために、本学の教育・研究を支援する基盤組織として、図書・雑誌・電子資料等の学術情報資源を収集・整理・保存し、学生及び教職員等の利用者に提供することを使命とする。

また、本学の学術情報を国内外に発信して本学の教育・研究の発展に寄与するとともに、地域社会・国際社会の学術研究の発展及び文化の振興に貢献する。

「目標」

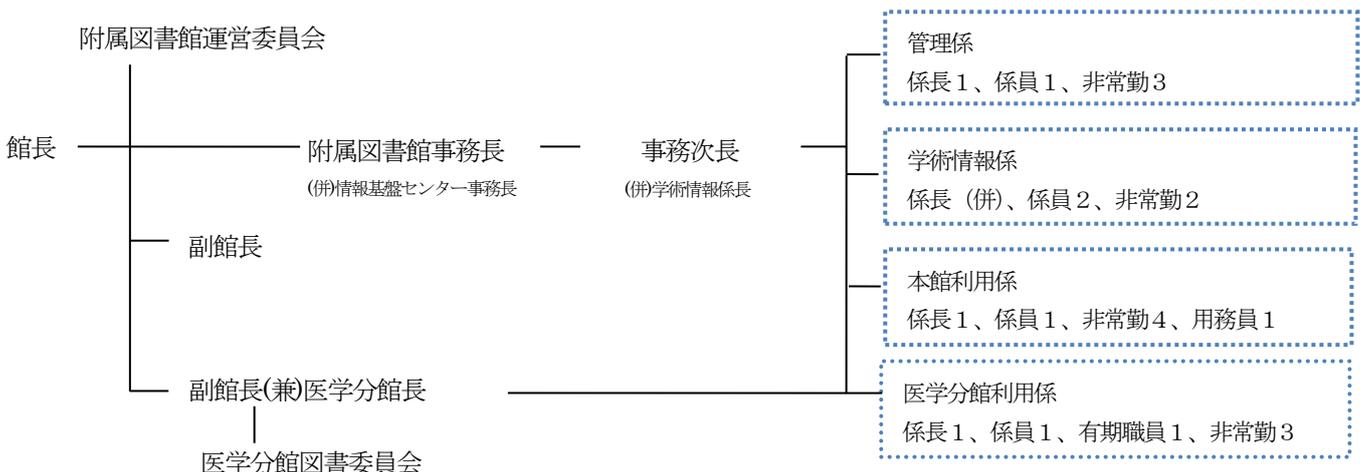
1. 利用者のニーズに対応した支援の充実・強化を図る。
2. 学術情報資料の体系的かつ計画的な収集・整備を促進する。
3. 電子図書館的機能の一層の充実を図る。
4. 教育・研究及び学習のための利用環境の快適化・多様化・機能化を推進する。
5. 研究成果等を積極的に集積・発信し、教育研究活動の活性化に資するとともに、研究資源を社会に還元する。
6. 国内外の図書館との連携及び相互協力に努め、地域社会・国際社会の発展に貢献する。
7. 図書館の理念を達成できる組織の整備を図るとともに、図書館職員の専門性の育成に努める。

沿革

旧宮崎大学附属図書館【統合前】		旧宮崎医科大学附属図書館【統合前】	
昭和 24 年 5 月	宮崎大学設置 附属図書館設置	昭和 49 年 6 月	仮校舎に附属図書館設置
昭和 38 年 3 月	附属図書館新築工事竣工	昭和 53 年 10 月	現在地に附属図書館竣工
昭和 46 年 3 月	附属図書館増築工事竣工	昭和 53 年 11 月	附属図書館開館
昭和 62 年 7 月	現在地に附属図書館竣工		
昭和 62 年 9 月	附属図書館開館		
宮崎大学附属図書館【統合後】			
平成 15 年 10 月	旧宮崎大学と旧宮崎医科大学の統合により、附属図書館は本館と附属図書館医学分館の 2 館構成となり、館長、医学分館長、副館長を置く。事務組織は学術研究協力部情報図書課となる		
平成 16 年 4 月	国立大学法人化に伴い、附属図書館関係学内規程等を改正		
平成 19 年 8 月	「宮崎大学学術情報リポジトリ」の一般公開を開始		
平成 21 年 4 月	リザーブブック制度の開始		
平成 22 年 10 月	事務組織改組、情報図書部図書課となる		
平成 23 年 12 月	パスファインダー公開開始		
平成 24 年 4 月	医学分館にラーニングコモンズを設置		
平成 24 年 10 月	本館にラーニングコモンズを設置		
平成 27 年 4 月	本館にセミナールーム（アクティブラーニングサポートルーム）を設置		
平成 28 年 4 月	事務組織改組、附属図書館事務部となる		
平成 28 年 11 月	学生サポーター制度を正式に開始		
令和 2 年 1 月	附属図書館（医学分館）リニューアルオープン		
令和 2 年 7 月	附属図書館（本館）リニューアルオープン		

組織図

(令和 5 年 5 月 1 日現在)



<本館>



3階



hidamari



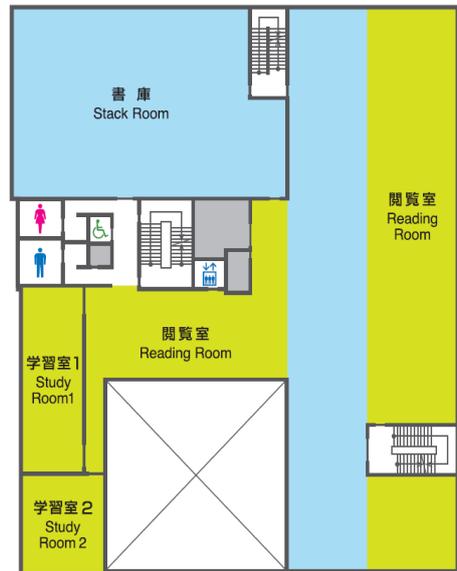
itanoma



komorebi



American Information Desk



2階



閲覧室 (開架)



閲覧室



閲覧室



学習室



1階



ワークショップコート



コミュニケーションコート

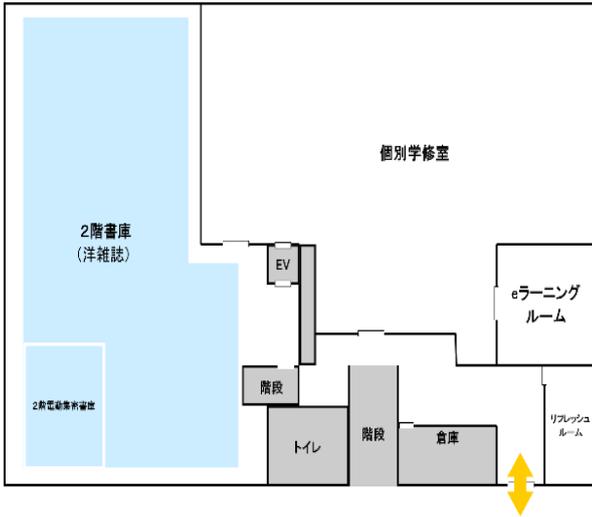


ライブラリーカフェ



絵本コーナー

<医学分館>



2階



リフレッシュルーム



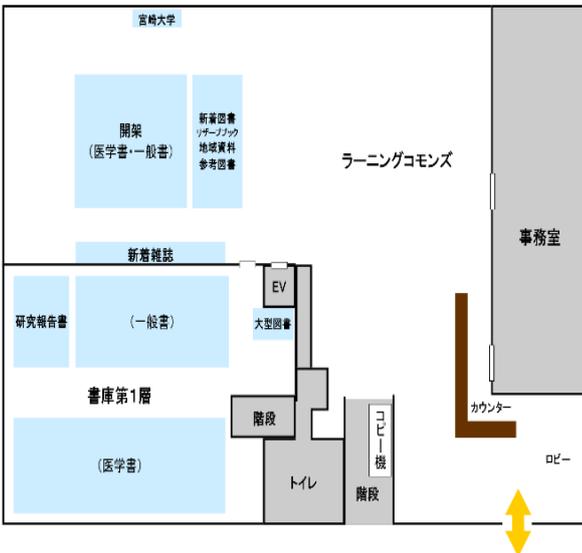
個別学修室



中2階



書庫第2層



1階



ラーニングcommons



開架閲覧席



書庫第1層

令和4（2022）年度

・第26回若山牧水受賞作と『牧水と時間（とき）を紡いだ百人』展を開催

令和4年2月4日～3月31日に附属図書館本館において、若山牧水の同時代を生きた文人・文化人の肖像百人の移設展を開催しました。同展は前年秋、日向市東郷町坪谷の若山牧水記念文学館にて開催されたもので、その後、日向市駅と日向市役所においてリレー展示され、今回バトンを受けて本学において展示することになり、宮崎市内では初の開催となりました。牧水短歌からイメージされた大判絵画とともに、教科書で誰もが気になった文人たちの肖像から、様々な読書へと目を向ける契機として企画されました。



1F展示コーナーでの月例展示



『牧水と時間(とき)を紡いだ百人』展

『プロジェクションマッピング短歌会』開催

令和4年3月29日附属図書館本館3Fにおいて、『プロジェクションマッピング短歌会』が開催されました。本企画は、「光と映像で表現する宮崎」と題したプログラムで、宮崎大学チャレンジプログラムに参加したグループと、宮崎大学短歌会（サークル）のグループによる発案で、異分野の学生がコラボして行われたものです。

歌会では、テーマ詠「溪流」としてプロジェクションマッピングによって覆われた空間に座し、同テーマで事前に集められた短歌11首に対して、参加者が歌から想像される情景や詠み手の心情を思い思いに披露し、実際の詠み手が歌へ込めた思いを披露する形で行われ大いに盛り上がりました。

短歌会の代表からは、「他学部の学生とコラボして何かをするということ自体が大変貴重ですし、良いタイミングで対面により実施できたことも非常に楽しかったです。今後、他のグループとのコラボも展開してみたいです。」と、抱負が語られ、プロジェクションマッピングの代表からは、「プロジェクションマッピングの技術は、感覚的なものを視覚的、聴覚的に捉えることで、更に深化して感じる事ができるものだと思うので、工学的な展開だけでなく、大学の他学部との融合にチャレンジしてみたい」と抱負が語られました。

この企画は、試行的に行われたもので、限定的にオンラインでも配信され、双方とも今後の展開に期待が持てる企画となりました。



『プロジェクションマッピング短歌会』の様子

『宮崎基地特攻資料展』を開催

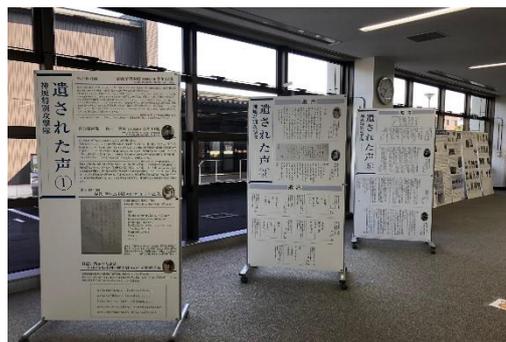
令和4年9月6日～9月22日まで『宮崎基地特攻資料展』（主催：宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会、共催：宮崎大学、後援：南九州文化会）を開催しました。

本資料展は、第二次世界大戦中に日本各地で起こった悲劇が二度と繰り返すことのないよう、大学生をはじめとする若い世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えることを目的として、本学が宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会と協力して開催しているもので、3回目の開催となりました。

会場には、現在の宮崎空港である宮崎基地（赤江飛行場）から出撃した特攻隊員達の遺影や特攻隊員が家族にあてた手紙や遺書などを並べたパネル及び当時の宮崎基地の全貌が描かれたパネル、アメリカ軍兵士が実際に使用していた装備品や戦闘機の模型などの展示、MRT 宮崎放送の協力を得た映像視聴コーナーの設置を行いました。また、宮崎県内で飛行中に撃墜され、不時着したことなどが原因で命を落としたアメリカ兵 38 人の資料もあり、日米双方からの視点による展示内容が特徴となっています。



『宮崎基地特攻資料展』



遺書の展示コーナー

『アフガニスタン』に関する資料を展示

宮崎大学では、現在、アフガニスタンやミャンマー、ウクライナ等、紛争や戦争により人道危機に直面して、母国から避難してきた、または母国に帰国できない外国人卒業生に対する人道支援の必要性が生じており、このような事態を受けて、本学は外国人卒業生及びその家族が日本社会に定着できるように、日本語や日本文化の学習支援を中心として、支援を行っています。

その一環として、令和4年10月3日～10月15日まで附属図書館本館においてアフガニスタンの歴史や文化に関する資料等の展示を行いました。外国人卒業生等への人道支援のため、本学構成員や全学同窓会のみならず、広く一般の方々からも寄附を募っており、展示期間中は、附属図書館においても募金箱を設置しました。



企画展示『宮崎大学とアフガニスタン』



民族衣装である『チャパン』の試着展示

令和4（2022）年度

<本館>

- ・月例展示「大学生生活はじめの一步」（4月5日～5月1日）
- ・特別展示「「新入生歓迎合同展」（4月23日～5月15日）
- ・特別展示 宮崎県立図書館巡回展「生命（いのち）を守る～語り継がれる災禍の記憶」（5月6日～5月30日）
- ・特別展示「没後50年 川端康成と宮崎、南九州」（5月17日～6月15日）
- ・特別展示「チェコ国交100周年バナー展示」（6月16日～30日）
- ・月例展示「論文・レポート・プレゼン術」（7月1日～31日）
- ・月例展示「まんがでわかる」（7月1日～31日）
- ・月例展示「芥川賞」（8月1日～31日）
- ・月例展示「アウトドア」（8月1日～31日）
- ・月例展示「データサイエンス」（10月3日～31日）
- ・企画展示「宮崎大学とアフガニスタン」（10月3日～31日）
- ・月例展示「ノーベル賞関連図書」（11月1日～12月11日）
- ・月例展示「宮崎の神楽」（11月1日～30日）
- ・月例展示「クリスマスの本」（12月1日～27日）
- ・月例展示「若山牧水賞受賞作展」（12月1日～27日）
- ・月例展示「Let's try! 投資」（1月10日～31日）
- ・月例展示「直木賞・芥川賞受賞作展」（1月16日～2月17日）
- ・月例展示「SDGs 関連の本」（2月1日～28日）
- ・月例展示「就活・面接・社会人」（2月20日～3月31日）
- ・月例展示「見る本・眺める本」（3月1日～31日）



月例展示「ノーベル賞関連図書」



月例展示「SDGs 関連の本」

<医学分館>

- ・企画展示「国家試験」（7月1日～31日）
- ・企画展示「医療文学」（8月1日～9月30日）
- ・企画展示「ノーベル賞」（10月3日～11月30日）
- ・企画展示「MicrosoftOffice 入門（医学分館）& 論文・レポート作成」（12月2日～1月5日）
- ・企画展示「英語に親しむ」（2月1日～3月31日）
- ・企画展示「新生活応援」（3月14日～5月31日）



企画展示「英語に親しむ」

学生サポーター

学生の図書館活動への理解を深め、図書館職員と協力しながら図書館活動の活性化と図書館振興を図ることを目的として、平成28年11月、学生サポーターが正式に活動を開始しました。

活動内容

- (1) 図書館のサービス向上に向けての提案
- (2) 図書館の行事の企画及び実施にかかる補助
- (3) その他図書館の活動に関すること。

これまで、ビブリオバトル、学生選書ツアー、大学開放事業での学生サークルとのコラボ企画の提案・運営、不用図書の無償配布などで活躍してもらったほか、全国学生協働サミット（横浜市）に参加し、他大学での取り組みを学んでもらいました。令和元年度以降、複数名の学生サポーターが登録されており、いろいろな活動を通じて、今後のサポーター活動にも生かしてもらいたいです。



図書館サポーター募集ポスター



月例展示「図書館サポーター活動紹介！」

パスファインダー

平成23年度より、授業と関連したテーマについて、パスファインダー（調べ物をする際の道しるべとなる情報をまとめた資料）を作成しています。当初6件だった登録数は、令和4年度末現在約138件に増え、年間の閲覧回数も21,897回となっています。

コレクション

○大正新脩大藏經 全100巻

このコレクションは、膨大な数のインド仏典の漢訳を10年以上の歳月をかけて全100巻に編集したものです。梵語写本の多くが失われている現在、仏教研究者にとって漢訳仏典は非常に重要であり、特にこの大藏経はその校正の厳密さゆえに高く評価されています。

○イギリス教育史コレクション 467点

このコレクションは、16世紀イギリスの人文主義教育思想家アスカムから20世紀に至るイギリスの教育思想（史）、教育史に関するオリジナル文献・研究書を幅広く収めています。

○アレン・ハット旧蔵 世界労働運動史コレクション 996点

このコレクションは、「イギリス労働運動史」の著者として知られる労働運動史家アレン・ハットが所蔵していた、イギリス並びに英露関係を中心とした世界労働運動史の様々な文献から構成されています。

アメリカンインフォメーションデスク

図書館と国際連携センターと連携し、米国国務省からの助成を受け企画した「アメリカ国務省×宮崎大学 図書館プロジェクト」の一環として設置しました。米国留学や文化に関する情報提供や各種イベントを実施し、宮崎大学のみならず宮崎県全体の国際化、日米相互理解、ひいては日米友好の深化の促進を目的としたものです。



図書館データ（統計）

【蔵書構成（本館）】

（令和5年5月1日現在）

区分	総記	哲学・ 宗教	歴史・ 地理	社会 科学	自然 科学	工学・ 技術	産業	芸術・ 美術	言語	文学	合計
和漢書	19,469	20,488	32,311	106,577	71,531	50,244	34,566	20,589	12,754	30,754	399,283
洋書	4,211	7,445	4,781	17,775	40,091	11,382	10,046	2,257	4,778	12,033	114,799
合計	23,680	27,933	37,092	124,352	111,622	61,626	44,612	22,846	17,532	42,787	514,082

【蔵書構成（医学分館）】

（令和5年5月1日現在）

区分	基礎教育等（和洋）							合計
	人文	社会	自然	外国語	保健体育	その他	小計	
蔵書	6,318	5,082	6,956	4,307	460	515	23,638	

区分	専門教育等									合計
	基礎医学			臨床医学			看護学			
	和書	洋書	小計	和書	洋書	小計	和書	洋書	小計	
蔵書	12,683	22,019	34,702	26,686	35,860	62,546	5,315	590	5,905	126,791

【雑誌情報】

（令和5年5月1日現在）

区分	所蔵	
	本館	医学分館
和雑誌	8,339	2,281
洋雑誌	2,745	1,730
合計	11,084	4,011

【利用状況】

（令和4年度）

区分	本館		医学分館		
入館者（人） [うち学外者（人）]	218,171 [10,485]		68,021 [0]		
貸出	人数（人）	冊数（冊）	人数（人）	冊数（冊）	
	学生	6,162	12,073	936	1,843
	教職員	1002	2,377	449	1,051
	学外者	348	944	0	0
	合計	7,512	15,394	1,385	2,894
レファレンスサービス（件）	729		573		
学外文献複写	依頼（件）	1,073		809	
	受付（件）	190		343	

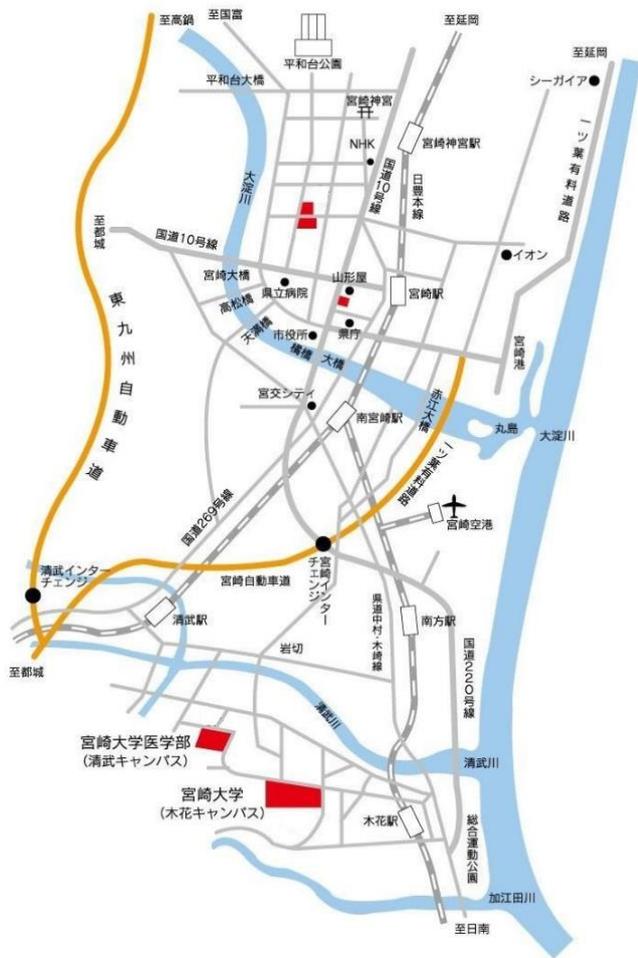
【ガイダンス】

（令和4年度）

区分	本館		医学分館	
	回数（回）	人数（人）	回数（回）	人数（人）
オリエンテーション	4	174	9	390
ガイダンス	28	1,097	5	277
時間外利用説明会			14	176
合計	28	1,097	28	843

アクセス

<アクセスマップ>



【交通案内】

バス利用（宮崎交通バス）

- J R 日豊本線宮崎駅から 「宮崎大学・大学病院行」 に乗車（約 40 分）
- 宮交シティバスセンターから 「宮崎大学・大学病院行」 に乗車（約 25 分）

タクシー利用

<本館>

- J R 日豊本線南宮崎駅から 約 11 km、約 25 分
- J R 日豊本線清武駅から 約 6 km、約 15 分
- 宮崎空港から 約 8 km、約 15 分

<医学分館>

- J R 日豊本線南宮崎駅から 約 10 km、約 20 分
- J R 日豊本線清武駅から 約 4 km、約 10 分
- 宮崎空港から 約 10 km、約 20 分

<本館>



<医学分館>



宮崎大学附属図書館概要 2023

令和5年6月発行

編集発行 宮崎大学附属図書館
〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
TEL 0985-58-7759 FAX 0985-58-2896
<https://www.lib.miyazaki-u.ac.jp>